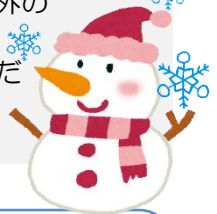


# はこのわ

第3号 発行日：令和8年3月19日 函館市教育委員会学校教育政策課・統括地域コーディネーター

『はこのわ』ももう第3号の発刊となりました。今回が令和7年度最後の発刊となります。令和8年度も、函館市の地域コーディネーターの活動をどんどんお知らせしていきますので、ぜひ自分と関わりのある学校以外の様子もご覧ください。

さて、令和7年度最終号のテーマは「冬」です！12月から1月には冬休みがあり、お正月にちなんだ日本の伝統行事に関する取組がたくさんありました。各学校に配置の地域コーディネーターが、学校や地域の方と工夫を凝らして様々な活動に取り組んでいますので、ぜひ最後までご覧ください。



## 高丘小学校 そば打ち体験

【郷六地域コーディネーターより】

高丘小学校では、1月10日（土）に、高丘町会館で高丘小児童とその保護者を対象としたそば打ち体験を実施しました。

町会内の豊富な地域人材を活用し、そばの歴史や食べ物へのありがたさを学んだ後、そば打ち名人の指導のもと、そばの実の粉ひきから麺づくりまでの工程を一貫して子どもたちと保護者が体験しました。また、町会の方々が麺つゆづくりや茹でる準備をするなど、地域の全面協力のもと、子どもたちが日本の伝統文化と食の成り立ちやありがたさを学ぶ、大変良い機会となったとともに、食を通して地域の多世代が交流することができ、とても価値ある時間となりました。



## 万年橋小学校・五稜郭中学校 地域交流会

【酒井地域コーディネーターより】

酒井地域コーディネーターが所属する北浜町会では、12月20日（土）に、北浜町会館で、北浜町会に居住の小中学生や地域住民が子どもたちとの取組に関わっている大学生などといっしょに、大学生が企画したゲームやもちつきをして、交流しました。

参加者みんなが楽しんでくれたので、今後も、「地域で子どもたちを育てる」だけでなく、「地域のみんなが親戚」のような関係性を築けるように若い力を借りながら活動していきたいと思えます。



## 青柳中学校 児童館もちつき体験会

【四戸地域コーディネーターより】

青柳中学校区内にある西部児童館では、11月22日（土）に、毎年恒例のもちつき体験会を開催し、青柳中学校の生徒10名がボランティアとして参加しました。もちつき体験会には、児童館に通う児童や母親クラブ、町会の方々などが参加し、幅広い世代で交流することができました。生徒たちは、参加している子どもたちのもちつきの補助や、ついたもちを丸くする手伝いをするなど、年下の子どもたちの面倒をよく見てくれていました。青柳中の生徒たちは、今ではこの地域に欠かせない即戦力となっています。





## 巴中学校 冬休み学習サポート会

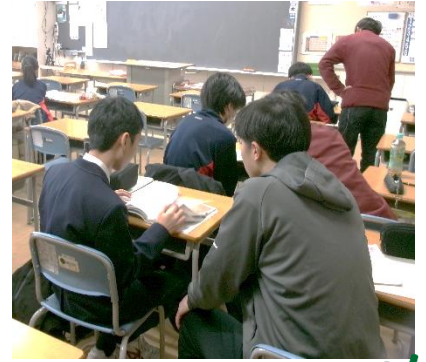
### 【吉村地域コーディネーターより】

巴中学校では、1月7日(水)・8日(木)に、校区内にある中部高校の生徒が先生となって巴中生徒の学習を支援する学習サポート会を実施しました。

この活動は毎年夏休みと冬休みに実施していて、毎年多くの中部生と巴中生が参加しています。

巴中生は、年齢の近い高校生から勉強を教えてもらうことで、わからない問題を解決したり、勉強方法やコツを学びました。また、参加した高校生の中には巴中を卒業した生徒もあり、中学生にとっては、高校生となった自分のイメージをより具体化することができ、将来や進路について考えるきっかけにもなりました。

今後もこの取組を大切に、橋渡し役として継続して活動を進めていきたいと思えます。



## 深堀中学校 はこだて FOOD フェスタ2026ボランティア



### 【京谷地域コーディネーターより】

2月21日(土)・22日(日)、深堀中学校区内にある函館サーモン・まるなまアリーナ(函館アリーナ)で開催された「はこだてFOODフェスタ2026」に深堀中学校の生徒計22名がボランティアとして参加しました。

生徒たちは市職員等の指示に合わせて、町会の方や深堀中OBと協力しながら、受付、タブロイド紙の配布、会場整理、ゴミの管理などを行いました。

本イベントに中学生がボランティアとして参加することは初めての試みでしたが、生徒たちの頑張りの様子は運営側の関係者や出店者、来場者にも伝わったようで、生徒たちに感謝や称賛の声を寄せられる場面も多く、参加した生徒たちも「ボランティアの楽しさを改めて感じた」、「また来年も参加したい」など、自己有用感を感じられる良いきっかけとなったと思います。



### わたしの学校の地域コーディネーター



名前：田中 慎一  
配置校：市立函館高校

**生徒達が未来に向かって踏み出す一歩を全力で応援します！**

田中地域コーディネーターが取り組む高校1年生対象の「社会人講話」では、自らも函館で活躍する多様な職業の方々ゲストティーチャーとして登壇し、仕事の内容や仕事観に加え、校訓「何を求める」に基づく人生観について熱く語り、生徒たちが将来のキャリアや生き方を主体的に考える機会を創出してくれる熱意あふれる存在です。



名前：京谷 佳子  
配置校：駒場小学校・深堀小学校・深堀中学校、湯川小学校

**未来の地域の担い手を育てたい！**

京谷地域コーディネーターは、地域包括支援センター職員として高齢者を支えるとともに、学校の地域コーディネーターとして小学校と中学校のつながりを大切にしながら、地域の皆さんと協力して子どもたちの学びの場づくりに取り組んでいます。小学生から高齢者まで、みんなに親しまれ、安心感を与えてくれる存在です。



名前：照井 千津  
配置校：昭和小学校

**子どもたちを真ん中に、みんなで支え合える場を作りたい！**

照井地域コーディネーターは、通学路の安全確認とゴミ拾いを行う「通学路99作戦」で、学校と町会の架け橋となり、学校と町会を丁寧につなぎながら地域の思いを大切に、地域の協力を引き出して子どもたちの安全を支えるとともに、安心して暮らせる地域づくりを推進する、地域から信頼も厚い、頼もしい存在です。

### 編集後記

もうすぐ春ですね。令和7年度の活動を振り返ると、どの場所でも、学校と地域がつながる活動を重ねていくことで、子どもたちの元気な声や笑顔に出会う機会が増えてきたと感じています。

私たち地域コーディネーターにとって、子どもたちの笑顔に加え、CSを支えてくださる地域の方や保護者の皆さん、そして先生方からの「楽しかった！ありがとう！」の言葉は、最高の贈り物だと思っております。

来年度も、地域コーディネーター一同、力を合わせて活動してまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

統括地域コーディネーター 神田 克実

地域コーディネーターの活躍をもっと見たい場合は函館市公式HPでご確認ください。➡

